

新茶の収穫が始まった田代地区 茶業振興と安全な収穫を願う

4月9日から新茶の収穫が始まった田代地区で献茶祭が行われました。生産者や各茶工場の代表、町関係者など約15名が参加。高値での取引や収穫の無事を祈りました。主催した田代茶業振興会の松ノ下広和会長は、「それぞれの生産者が手塩にかけて育てた。安全な収穫作業を最優先に、高値での取引に期待する」と新型コロナウイルスの影響で市況が見えない中でも前を向きました。



『銘茶の道を拓く』と彫られた田代地区の石碑前で安全祈願や高値取引を願う関係者。「今できることを着実に進める」と松ノ下会長。

サポートセンターを田代支所に設置 大根占保護司会が開所式を開催

4月24日、大根占保護司会の更生保護サポートセンター開所式が行われました。19名で活動する同会は、これまで会員宅で相談業務や処遇協議、意見交換など行ってきましたが、活動拠点が必要とセンター設置に向けて協議を重ね、今春ついに開所。貫見広幸会長は「会員が交代で常駐する。保護司の活動を知ってもらう拠点到に育てていきたい」と新たなスタートを切りました。



錦江町と南大隅町の会員で組織。県内15ある保護地区で最後のサポートセンター設置となりました。月・水・金の9時～16時常駐。

町内8小中学校で規模を縮小し入学式 100名が新たな学校生活スタート

4月6日、町内8小中学校で入学式が行われ、小学生41名(大根占13、神川9、宿利原1、池田3、田代13、大原2)、中学生59名(錦江46名、田代13)がそれぞれの期待を胸に入学しました。9名が新たに仲間入りした神川小では、在校生や保護者に見守られ笑顔で堂々の入場。山田校長から「早く学校に慣れて明日からも元気に登校して」とエールを受け新学期がスタートしました。



元気いっぱい「はい!」と立ち上がる新1年生。6年生5名が、神川小の紹介や得意の縄跳びを披露するなど温かく歓迎しました。

新型コロナで町内小中学校が休校措置 自宅で過ごす児童に動画でエール

休校している児童に、足し算や平面、立面などの解説動画を配信する学習支援の取り組みが神川小で行われています。当初は校長がスマホで自撮りしたものを投稿していましたが、さらに見やすくホワイトボードや固定カメラを設置して撮影。面積や距離の解説を14分ほどにまとめました。「動画も学習支援ツールのひとつに活用して」と休校中の児童にエールを送りました。



解説動画は神川小の公式Facebookで投稿しています。「分からないときは何回も見返せる。自分のペースで応用してほしい」と話す山田俊也校長。

児童手当受給者へ対象児童1人に1万円 子育て世帯に臨時特別給付金

新型コロナウイルス感染症の影響を受けている、子育て世帯の生活支援対策として、児童手当受給者の方に対象児童1人につき1万円を支給します。今回の支給で改めて申請する必要はありません。

支給対象 ▶ 令和2年4月分（3月分を含む）の児童手当受給者

支給金額 ▶ 対象児童1人につき1万円

支給時期 ▶ 6月頃に支給します。以降確認ができなかった場合はお問合せください

支給方法 ▶ 令和2年4月分（3月分含む）を受給している口座へ振り込みます

ご注意ください

児童手当の支給に当たって指定していた口座などを解約しており、給付金の支給に支障が生じる恐れがある場合は、変更手続きなどをお願いします。指定口座への振込が口座解約や変更などによりできない場合は、臨時特別給付金が支給されませんので、令和2年6月末までに必ずご対応ください。

保健福祉課 ☎ 22-3042

運動の健康効果や錦江町の歴史を学ぶ 生涯学習県民大学講座を開催

大学などと連携して、現代的課題や町が抱える課題を解決する学習機会を提案する生涯学習県民大学講座を8月9日に開催します。参加を希望する方は7月31日までに教育課までお申込みください。

開催日 ▶ 8月9日(日) **入場無料** **定員100名**

会場 ▶ 錦江町文化センター 2階会議室

講座1 ▶ 10時30分～12時まで
「健康寿命延伸のための運動の効果」
(鹿屋体育大学スポーツ生命科学系 中垣内真樹 教授)

講座2 ▶ 13時30分～15時まで
「郷土芸能から学ぶ鹿児島! 錦江町の歴史・文化」
(尚古集成館 小平田史穂 学芸員)



教育課 ☎ 22-0517

ハウスや田畑等で使用したフィルムなど 農業用廃プラスチック類の回収は5月27日(水)

回収日 ▶ 5月27日(水) **場所** ▶ J A鹿児島きもつきなんぐら
時間 ▶ 8時30分～14時まで **農業管理センター（花ノ木）**

※今回から「印鑑」が必要になりますのでご持参ください

回収品目	塩化ビニール	ポリエチレンフィルム	肥料袋（ポリ製）	プラスチック容器
	ハウス用資材	飼料用ラッピングフィルム	ローリータンク	飼料袋（ポリ製）
	育苗箱	その他農業用廃プラスチック類	土壌消毒剤空缶（金属製）	

注意事項

- ※紙製の飼料袋や肥料袋は回収できません。
- ※プラスチック容器は、中を洗浄してプラスチック以外のラベルは取り除く。
- ※土壌消毒剤空缶（金属製）は、穴を開けて中身が空であることを確認する。
- ※ローリータンクは切断し、結束する。
- ※農業管理センター隣接道路は狭いため、搬入車はグリーンロード側から搬入し、帰りは旧城内小学校側への一方通行での協力をお願いします。
- ※プラスチック容器その他の小物類は、透明のビニール袋に入れて搬入する。
- ※産業廃棄物処理運搬車のステッカーを車両に貼って搬入する。（ステッカー販売あります）



分別方法は町ホームページに掲載中

産業廃棄物処理運搬車
氏名 錦江 太郎